












情報連絡員だより

－令和3年2月の報告より－

依然として需要減が続き、業況低迷

業種 / 景況天気図		概況
全	体	 <p>2月上旬に東京都ほか9府県で緊急事態宣言が再延長となる中、例年並みの売上を確保できている企業は限定的で、依然、業種を問わず需要減に苦しんでいる。17日より医療従事者にワクチン接種が始まったこともあり、早期のコロナ禍収束を期待する一方、長期化による回復の遅れを不安視する声も聞かれる。</p>
製 造 業	食 料 品	 <p>パンは、企業間・地域間格差があり、前年以上の落ち込みがみられる。菓子は、引き続き人の動きが悪く売上減少。製麺は、小売向けは例年並みだが、業務向けは依然厳しい。酒造は、全体的に売上が減少。食肉は、前年比で稼働日数が減少したためマイナスとなったところもあるが、大きな変動はなく安定している。</p>
	織 維 ・ 同 製 品	 <p>桐生織物は、自粛要請によりモノの動きが停滞する中、在庫過多により取引先が仕入を手控えるなど、厳しい状況が継続。刺繍は、全体的に仕事量が少なく、仕事のあるところとないところで二極化。伊勢崎織物は、展示・販売会が中止となるなど先行きに不透明感が漂う。繊維製品は、医療用ガウン製造の忙しさが続く。</p>
	窯 業 ・ 土 石 製 品	 <p>生コンは、県央部において大型工事が少ない傾向が続いており、全体的な業況の下降傾向が続いている。砕石は、吾妻地域のダム関連工事の前半が概ね終了、冬季中の端境期となり、一服感がみられる。砂利は、需要の落ち込む時期とコロナが重なり、出荷量・生産量ともに前年比で2～3割減少。</p>
	機 械 ・ 金 属	 <p>一部にコロナの悪影響から脱却している企業もあるが、緊急事態宣言再延長により、営業活動や出張を伴う現地作業などにおいて不都合が生じるなど、足踏み状態が続く。医療機器は、助成金の終了に伴うCTスキャナの駆け込み需要が継続。自動車関連は、半導体不足による減産が続き、下請企業への悪影響は必至の状況。</p>
	そ の 他 の 製 造 業	 <p>ゴム製品は、半導体不足による自動車メーカーの操業短縮を受け受注減少。印刷は、新型コロナの影響による年度末需要減少を懸念。木材は、品不足のため価格が上昇傾向のモノもあるが、低グレード木材の需要は前年を下回る。紙加工品は、取引内容の改善傾向が続き、新規案件が受注に結び付くケースも見受けられる。</p>
非 製 造 業	卸 売 業	 <p>農産物卸は、前年11月頃の暖かさによる出荷の前倒しや人手不足を要因に、一部野菜が品不足となり、価格が高騰している。非鉄金属卸は、半導体が増産される中、その原料となる金属相場が急騰。卸団地は、2月に主催する予定だったイベントを4月に延期を決定。</p>
	小 売 業	 <p>家電小売は、例年の季節的な落ち込み以上に客足が冷え込む。燃料小売は、全体的には需要減少だが、灯油は巢籠り需要により伸長。生花小売は、葬儀の簡略化が顕著になり、業界全体に暗い影を落としている。商店街は、飲食店の自粛ムードが続き、街中は寂しい。中古車オークションは、高い成約率を維持。</p>
	サ ー ビ ス 業	 <p>温泉旅館は、売上・入込ともに大幅にダウン、また、緊急事態宣言期間延長により新規予約が伸び悩む中、休業する施設も見受けられる。不動産取引は、テレワーク推進に伴い群馬に移住する動きが散見される。建築設計は、建築業界がコロナ禍の影響を受けているため、厳しい状況が続くことを懸念。</p>
	建 設 業	 <p>電気工事は、コロナの影響で年度末の受注が減少し、高齢組合員の自主廃業の検討が本格化しつつある。塗装工事は、一般住宅の塗り替え需要が落ち込むなど仕事量減少。鉄構は、組合のコロナ対策としてウェブ会議を活用するほか、施策関連情報をメールにて発信。建設工事は、令和3年度の公共工事予算減少を不安視。</p>
	運 輸 業	 <p>新型コロナの影響が大きく荷動きは引き続き低調で、帰り荷の手配もままならない状況。また、燃料価格が高止まりしており、今後の収益に与える影響を懸念。野菜関連は、収穫量や外食向け出荷の落ち込みが響き輸送量減少。小口配送は、全体では減少したが、医薬品や季節物のひな人形の輸送量が増加。</p>